



保護対象サイトとリカバリ サイトのリソースの設定 ONTAP tools for VMware vSphere 105

NetApp
July 24, 2026

目次

保護対象サイトとリカバリ サイトのリソースの設定	1
ONTAP toolsでネットワーク マッピングを設定する	1
ONTAP toolsでフォルダマッピングを設定する.....	1
ONTAP toolsでリソースマッピングを設定する.....	2
ONTAP toolsでプレースホルダデータストアを設定する	3
ONTAP toolsのアレイマネージャを使用してSRAを設定する.....	3

保護対象サイトとリカバリ サイトのリソースの設定

ONTAP toolsでネットワーク マッピングを設定する

保護サイトから復旧サイトの適切なリソースへ各リソースをマッピングできるように、VMネットワーク、ESXiホスト、フォルダなどのリソースマッピングを両方のサイトで構成する必要があります。

以下のリソース設定を完了してください。

- ネットワーク マッピング
- フォルダ マッピング
- リソース マッピング
- プレースホルダ データストア

開始する前に

保護サイトと復旧サイトを接続しておく必要があります。

手順

1. vCenter Server にログインし、サイトの復旧 > サイト を選択します。
2. 保護対象のサイトを選択し、*管理*を選択します。
3. 新しいネットワークマッピングを作成するには、管理タブで*Network Mappings* > *New*を選択します。
4. ネットワークマッピング作成ウィザードで、以下の操作を行います。
 - a. 「名前が一致するネットワークのマッピングを自動的に準備する」を選択し、「次へ」を選択します。
 - b. 保護サイトと復旧サイトに必要なデータセンターオブジェクトを選択し、*マッピングの追加*を選択します。
 - c. マッピングが正常に作成されたら、*次へ*を選択してください。
 - d. 以前に逆マッピングを作成するために使用したオブジェクトを選択し、*完了*を選択します。

結果

[Network Mappings]ページに、保護対象サイトのリソースとリカバリ サイトのリソースが表示されます。環境内の他のネットワークについても同じ手順を実行します。

ONTAP toolsでフォルダマッピングを設定する

保護サイトと復旧サイト間で通信を可能にするには、それぞれのフォルダをマッピングする必要があります。

開始する前に

保護サイトと復旧サイトを接続しておく必要があります。

手順

1. vCenter Server にログインし、サイトの復旧 > サイト を選択します。
2. 保護対象のサイトを選択し、*管理*を選択します。
3. 新しいフォルダーマッピングを作成するには、「管理」タブで*フォルダーマッピング*>*フォルダー*アイコンを選択します。
4. Create Folder Mappingウィザードで、次の手順を実行します。
 - a. 「名前が一致するフォルダーのマッピングを自動的に準備する」を選択し、「次へ」を選択します。
 - b. 保護サイトと復旧サイトに必要なデータセンターオブジェクトを選択し、*マッピングの追加*を選択します。
 - c. マッピングが正常に作成されたら、*次へ*を選択してください。
 - d. 以前に逆マッピングを作成するために使用したオブジェクトを選択し、*完了*を選択します。

結果

[Folder Mappings]ページに、保護対象サイトのリソースとリカバリ サイトのリソースが表示されます。環境内の他のフォルダについても、同様の手順で操作できます。

ONTAP toolsでリソースマッピングを設定する

保護サイトとリカバリサイトのリソースをマッピングして、仮想マシンがどちらか一方のホストグループにフェイルオーバーするように設定する必要があります。

開始する前に

保護サイトと復旧サイトを接続しておく必要があります。



VMware Live Site Recovery では、リソースはリソース プール、ESXi ホスト、またはvSphere クラスターにすることができます。

手順

1. vCenter Server にログインし、サイトの復旧 > サイト を選択します。
2. 保護対象のサイトを選択し、*管理*を選択します。
3. 新しいリソースマッピングを作成するには、管理タブで*リソースマッピング*>*新規*を選択します。
4. Create Resource Mappingウィザードで、次の手順を実行します。
 - a. *Automatically Prepare Mappings for Resources with Matching Names*を選択し、*Next*を選択します。
 - b. 保護サイトと復旧サイトに必要なデータセンターオブジェクトを選択し、*マッピングの追加*を選択します。
 - c. マッピングが正常に作成されたら、*次へ*を選択してください。
 - d. 以前に逆マッピングを作成するために使用したオブジェクトを選択し、*完了*を選択します。

結果

リソースマッピングページには、保護対象サイトのリソースと復旧対象サイトのリソースが表示されます。環境内の他のリソースについても、同様の手順で操作できます。

ONTAP toolsでプレースホルダーデータストアを設定する

プレースホルダーデータストアを構成して、保護対象の仮想マシン（VM）の復旧サイトにおけるvCenterインベントリのスペースを予約します。プレースホルダーVMは小さく、通常は数百キロバイトしか使用しないため、プレースホルダーデータストアに必要な容量は最小限です。

開始する前に

- 保護サイトと復旧サイトが接続されていることを確認してください。
- リソースマッピングが正しく設定されていることを確認してください。

手順

1. vCenter Server にログインし、サイトの復旧 > サイト を選択します。
2. 保護対象のサイトを選択し、*管理*を選択します。
3. 新しいプレースホルダーデータストアを作成するには、管理タブで「プレースホルダーデータストア」>「新規」を選択します。
4. 適切なデータストアを選択し、**OK** をクリックしてください。



プレースホルダーデータストアはローカルストレージまたはリモートストレージに配置できますが、レプリケーションは必要ありません。

5. 手順3～5を繰り返して、リカバリサイト用のプレースホルダーデータストアを設定します。

ONTAP toolsのアレイマネージャを使用してSRAを設定する

VMware Live Site Recovery のアレイマネージャウィザードを使用してストレージレプリケーションアダプタ（SRA）を構成することで、VMware Live Site Recovery とストレージ仮想マシン（SVM）間の連携を有効にできます。

開始する前に

- VMware Live Site Recoveryで、保護対象サイトと復旧サイトをペアリングしておく必要があります。
- アレイマネージャを設定する前に、オンボーディング済みのストレージを設定しておく必要があります。
- 保護サイトとリカバリサイト間の SnapMirror 関係を設定およびレプリケートしておく必要があります。
- マルチテナンシーを有効にするには、SVM管理LIFを有効にする必要があります。

SRAは、クラスタレベルの管理とSVMレベルの管理をサポートします。クラスタレベルでストレージを追加すると、クラスタ内のすべてのSVMを検出して操作を実行できるようになります。SVMレベルでストレージを追加すると、その特定のSVMのみを管理できるようになります。

手順

1. VMware Live Site Recoveryで、「Array Managers」>「Add Array Manager」を選択します。
2. VMware Live Site Recovery でアレイを説明するために、以下の情報を入力してください。
 - a. **Display Name** フィールドに、アレイマネージャを識別するための名前を入力してください。

- b. 「SRA タイプ」フィールドで、「NetApp Storage Replication Adapter for ONTAP」を選択します。
- c. クラスタまたはSVMへの接続情報を入力します。
 - クラスターに接続する場合は、クラスター管理LIFを入力する必要があります。
 - SVMに直接接続する場合は、SVM管理LIFのIPアドレスを入力する必要があります。



アレイマネージャを構成する際は、ONTAP tools for VMware vSphere でストレージシステムをオンボーディングする際に使用したのと同じ接続（IPアドレス）をストレージシステムに使用する必要があります。例えば、アレイマネージャの構成がSVMスコープの場合、ONTAP tools for VMware vSphere 配下のストレージはSVMレベルで追加する必要があります。

- d. クラスターに接続する場合は、*SVM名*フィールドにSVM名を指定するか、クラスター内のすべてのSVMを管理する場合は空白のままにしてください。
- e. 検出するボリュームを **Volume include list** フィールドに入力してください。

保護対象サイト側のソース ボリューム、およびリカバリ サイト側のレプリケートされたデスティネーション ボリュームを入力できます。

例えば、ボリューム *dst_vol1* と SnapMirror 関係にあるボリューム *src_vol1* を検出する場合は、保護サイトフィールドに *src_vol1* を指定し、リカバリサイトフィールドに *dst_vol1* を指定する必要があります。

- f. （オプション）検出から除外するボリュームを **Volume exclude list** フィールドに入力します。

保護対象サイト側のソース ボリューム、およびリカバリ サイト側のレプリケートされたデスティネーション ボリュームを入力できます。

たとえば、ボリューム *dst_vol1* と SnapMirror 関係にあるボリューム *src_vol1* を除外する場合は、保護サイトフィールドに *src_vol1* を指定し、リカバリサイトフィールドに *dst_vol1* を指定する必要があります。

- 3. 「次へ」を選択します。
- 4. アレイが検出され、「アレイマネージャの追加」ウィンドウの下部に表示されていることを確認し、「完了」を選択します。

該当するSVMの管理IPアドレスとクレデンシャルを使用して、リカバリ サイトでも同じ手順を実行します。Add Array Managerウィザードの[Enable Array Pairs]画面で、正しいアレイ ペアが選択されていて、有効化できる状態になっていることを確認します。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。